

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

第 7 回 議会改革調査検討特別委員会

平成 28 年 12 月 9 日(金)

11 時 50 分～12 時 10 分

第 4 委 員 会 室

- 【出席者】 牛尾博美委員長 柳楽副委員長 足立委員 岡野委員 森谷委員
 笹田委員 布施委員 田畑委員 澁谷委員 原田委員 牛尾昭委員
- 【議長団】 西田議長 平石副議長
- 【事務局】 三浦局長 外浦次長 鎌原係長 篠原係長

議 題

- 1 議員定数について
採決の結果 賛成多数により 24 名で決定（次回選挙）
- 2 会派代表質問について
次回協議とする
- 3 行政視察(委員会視察・会派視察)の報告会の実施について
次回協議とする
- 4 その他
 - ・委員長報告について
正副で委員長案を作成に一任（事前に委員に配布）

※次回以降の検討項目

議員の納税証明提出について

議会一般質問での議員の個人名の使用、扱いについて

兼業禁止規定について

次回開催 月 日 () 時 分 第 4 委員会室

(開議 11 時 50 分)

【議事の経過】

牛尾博美委員長 第7回議会改革調査検討特別委員会を開会いたします。皆さんのお手元にあるレジュメに沿ってやっていきたいと思います。

議題1 議員定数について

森谷委員 議題1について。これは前回、各会派に持ち帰って話しあっていただきたいということで、各会派でご検討されたと思います。それぞれ話し合われたご意見、具体的な数字とそれに対する理由等々あれば申し述べていただければと思います。森谷委員から。

森谷委員 定数は増やすべきだと思います。

牛尾博美委員長 具体的な数はありますか。

森谷委員 多ければ多いほど良いです。30でも50でも。執行部と対抗するわけですから100ぐらいが妥当かと思います。聞かれていませんが報酬も多い方が良いと思います。それだけ働き甲斐があるので良い人が集まると思います。

牛尾昭委員 それは同感だ。

牛尾博美委員長 多い方が良いということですね、はい。次は公明クラブさんいかがでしょうか。

柳楽委員 前回もお話したように、今回は24のままで次回がまた検討すべきではないかということです。

牛尾博美委員長 公明さんからは、具体的な数字は24、次回は減らすということを考えるということですね。それでは次に会派未来。

布施委員 会派未来は前回と一緒に、2減の22です。市民に付託を受けた市議会として首長から出された議案の審議もですが、無投票となると市民から付託を受けたという大義名分が出せなくなるのではないかと危惧します。雲南市議会は辞める人間を用意して無投票になった経緯があります。全国的にそういう流れがある中、浜田市議会は少数精鋭で22名でも現状を維持できるのではないかとということで、会派未来は22を提案します。

牛尾博美委員長 はい。会派未来は具体的に22名ということですね。次に超党はまだはいかがでしょう。

牛尾昭委員 前回申し上げたように24ということで。理由については、通年会期を導入すると議員にかかる負荷がさらに増え、今以上に忙しくなりますので、減員すると立ち行かなくなるのではと思います。また、タブレット導入も含めて議員に求められるものが今以上に増えることからすると、次の選挙については24という数字もやむを得ないのではないかとということで纏まりましたので報告いたします。

牛尾博美委員長 はい。数的には24名。これは前回も言われた通年議会等を視野に入れながらということで、市民から求められるものが多くなるであろうと

	いうことですね。
牛尾昭委員	そういうことです。
牛尾博美委員長	はい分かりました。続いて創風会はいかがでしょうか。
田畑委員	創風会は調整した結果、今回の定数は 24 名で選挙を行いたいと。色々あると思いますが、現段階で市民の声を市政に伝えるためには議員を減らすべきではないと私は感じていますので、次回選挙においては議員定数 24 でいきたいということで纏まりました。
牛尾博美委員長	はいありがとうございました。創風会は 24 名ですね。その他、述べていない委員から定数について何かご意見ありますか。澁谷委員。
澁谷委員	無投票になるとか、他の市議会で無投票になった話が出ましたが、浜田市議会はこれまで無投票になったことは 1 回もないですよ。そういう状況で無投票の心配をしたり、他市の状況を言うのは極めて拙速的な理由だと考えました。
牛尾博美委員長	布施委員。
布施委員	意見を述べてくれということですから、拙速も何もないと思います。
澁谷委員	だから僕はその意見に対してそういう意見を持ったということです。
森谷委員	お互いに意見を。
澁谷委員	ああ。意見を言いたければ言ってください。
牛尾博美委員長	布施委員。
布施委員	24 という現状だと言われましたが、今議会は 24 でも良いけども次は削減というようなことを言われましたよね。通年議会で仕事が増えてくる、市民の声が聞きにくくなってくる。今回は 24 で良いけど次に減らした時はどうするんですか。そういうことも考えながらやらないと、来年の選挙だけでやるわけではないでしょう。浜田市議会はずっと続いていくわけですよ。そういった時に、今回は 24 でも良いという意見があれば、それはそれで良いと思いますが、次は減らしましょうという提案が出ると、それは私は。減らすのであれば今回も徐々に減らすといった意見は言いますよ、今回はどうですかと言われたからそういうことを言ったまでです。
牛尾博美委員長	牛尾昭委員。
牛尾昭委員	我々は次の選挙をどのベースでやるかという議論をしているので、次の任期の議員数がどうであるかというのは、次の任期の議員が考えるべきことであって、その辺を交通整理していただいて。次の任期は減らすべきだということを言及すべきではないと思うし、この特別委員会はそうでないと思っていますので、その辺の纏め方をよろしくお願いします。
牛尾博美委員長	委員長の私が言うのも何ですが、そういうことを視野に入れながらという言い方ですが、時代背景も今後 4 年先、5 年先変わってきますし、その辺は市民の考え方、あるいは財政状況、様々な状況が変わってくることもありますので先のことは分かりませんが、今回は来年 10 月に行われるであろう市議会議員選挙に対する議員定数の話をやっていますので。付属的な物の言い方はするかもしれませんが、色々考えた上のこ

森谷委員

とが言葉に出ているだけであって。色々な意見は聞きますが最終的には、24 という数字、あるいは 22 という数字、あるいは 30 でも 50 でもというような、そうした様々な意見を考慮しながら定数を決めるということで、そちらに主力を置いて特別委員会を進めていますので。色々な考え方が出てきましたが、来年の議員定数ということで進めさせていただきたいと思います。森谷委員。

基本的に、定数は勝手に決めれば良いんですけども、流れとしては立候補してくれた人が多い方が良いんだけどなというイメージが伝わってくるんですよ。それは間違いありません。定数割れ欠員はいけないと。でもそのためのことというのが、例えば風邪をひかないために汗をかいたら拭く、冬に半袖を着ないというのが大切なんです。何がそれに当たるかと言えば、市民が興味を持つことではないですか。ということは、この委員会も YouTube でアップすれば良いわけです。我田引水ではなく、そういうことが市民の目に触れ、興味が湧くことになるのではないかと思うわけです。僕の主張は首尾一貫しているわけです。この場合にも通用しているわけです。そういうことを考えるのが良いことなんです。定数の件に尾ひれがついてすみませんでしたけども、そのことを伝えたいわけです。

牛尾博美委員長

YouTube 云々はまた改めて、全体でまた話をしなければいけないことだと思っています。執行部の関係もありますし。ですから公開することは良いことだと思っていますけど、その辺はルール化したり、いわゆる私見等があまり入らないよう是非公平的に……。

森谷委員

傍聴できるんだからね。

牛尾博美委員長

ということを考えながら、今後検討していく大きな課題だと思っていますので。

それでは議員定数についてはおおよその意見が出尽くしたと思っています。先ほど申したように市民の方や現在の我々議員、来年に議員選挙に出たい方も含めて、議会としての意思表示を早急にしなければならんと思っています。この 12 月議会最終日には委員長報告という形で議員定数を皆さんに報告したいと思っていますし、またこういう状態の中で緊急でやるべき喫緊の課題だと思っていますので、ここで具体的に採決という形でやりたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

(「了解」という声あり)

はい。方法としては私が具体的に言いますので、賛成の方の挙手をお願いしたいと思います。

先ほど森谷委員が言われた、具体的な数字は 30 でも 50 でも 100 でも良いということでしたけども、今以上に多い方が良いという方の挙手を求めます。

三浦局長

挙手を求められる場合、多くの意見のあった数から挙手をされた方が分かり易いと思いますが。

牛尾博美委員長

はい、分かりました。それではもとい。先ほど各会派から出していた

	だいた意見において、一番多かった数からまずやりたいと思います。 次回の議員定数を 24 とすることに賛成の方の挙手を求めます。 《 挙手多数 》 賛成多数ということで、来年に行われる市議会議員選挙の定数は 24 名ということで決しました。大変ご苦労さまでした。 なお、このことについては 12 月定例会の最終日に委員長の間接報告として議場で報告したいと思っています。その内容については、議員定数以外のことも含めて、いましばらく時間をいただきたいと思っています。その報告書については改めて会を催して皆さん方に諮っていききたいと思っています。次回当委員会開催日は後で皆さんにお諮りしてもう一度決めていただいて、そこで皆さんに報告内容をチェックしていただきますので、よろしくお願いします。
三浦局長	予算決算委員会の終わった 15 日か 16 日にお集まりいただき、その時に正副委員長で検討いただいた中間報告案を皆さんにお示しして、最終日に報告する形で進めさせていただけたらと思います。日にちを決めていただければその日に合わせて報告書案を皆さんに検討いただくことになろうかと思っています。
牛尾博美委員長 牛尾昭委員	牛尾昭委員。 正副委員長に一任を。もしペーパーだけ配っていただいて、余程何かあれば言うというのはどうですか。わざわざそれだけのために集まるというのも……。
三浦局長 牛尾博美委員長	皆さんがよろしければ。 よろしいでしょうか。 (「はい」という声あり) では正副にお任せいただいて、出来上がり次第皆さんのお手元に原稿をお渡ししますので、その節はよろしくお願いいたします。局長。
三浦局長	本日はぎりぎりの時間になりましたので、議題 2 と 3 とその他については、それぞれこの間ご意見があった所が纏まっていませんので、今日決めるというのはなかなか難しいかもしれませんが、その他ご意見がありましたら、また次回にご検討いただいても結構かと思っていますのでよろしくお願いします。
牛尾博美委員長	いかがでしょう、議題 2 と 3 は次回にして。 (「そうしましょう」という声あり) では 2 と 3 は次回にまた改めてやるということにします。

議題 4 その他

・委員長報告について（議題 1 で協議）

牛尾博美委員長	その他について。足立委員。
足立委員	前回か前々回かに発言させていただいたんですけども、浜田市議会議員の納税証明をやはり皆さんで提出させていただきたいという思いが

	あります。幾人かの市民の方から、その辺市議会議員はどうなんだというお話も伺いますので是非とも。また先進地事例を森谷委員も言われていましたが、そういったことをされている議会もあるということで、襟を正す意味合いと、議会改革の一環で取り組んでいただきたいと思います。
牛尾博美委員長	足立委員から、議員の納税証明書を提出していただいたらという市民からの意見もあったということですが、皆さん方はこれについていかがでしょうか。
森谷委員	金額は分かるんですか。未納がないだけが分かるんですか。
牛尾博美委員長	どこまでどのようにするかは僕も分かりませんが。
足立委員	未納がありません だけじゃなかったですか。
森谷委員	ああ、じゃあ良いんじゃないですか。
田畑委員	・・・なら金額が書いてあろう。
足立委員	金額は別に出さなくて良いと思います。
三浦局長	急に出た案件なので、各会派に持ち帰られたらいかがでしょうか。
牛尾博美委員長	牛尾昭委員。
牛尾昭委員	私から提案したいのは、一般質問内で議員の個人名をあげて議論される方がいらっしゃるんですけど、その個人名の出し方、扱い方については是非議論していただきたいと思います。 それともう1つは、議員の兼業禁止規定。これも全国的に問題になっていることもありますので、法律に照らし合わせて、みなし行為含めてチェックする必要があると思います。持って帰って検討していただきたいと思います。
森谷委員	思い出しました。
牛尾博美委員長	森谷委員。
森谷委員	議員のレベルに合わせて禁止規定を明確にしたいと思うんですよ。暴行の禁止。裁判が確定して暴行の事実が明らかになった。その場所も議会事務局と確定しましたし慰謝料も貰いましたし。
牛尾博美委員長	その辺は承っておくことにいたしまして。なかなか難しいんですが。
森谷委員	レベルに合わせた規定を。
牛尾博美委員長	レベルが高いか低いかわかりませんが。
森谷委員	低い。
牛尾博美委員長	先ほど足立委員から言われた、納税証明書を提出したらどうかと、そういった提案・意見、それから牛尾昭委員が言われた、一般質問等々の議会の中で議員個人名の使用とそういうのが出ることについての論議。あとは兼業禁止について、3人からそれぞれ意見が出ました。このことについて、また改めて特別委員会の検討項目に添えて、ゆっくりと時間をかけてお話する機会もあろうかと思います。是非とも各会派に持ち帰って、身近なこととして意見交換していただきたいと思います。それでよろしいでしょうか。
森谷委員	もう1つ。

牛尾博美委員長

森谷委員

森谷委員。

先ほどの、議員の名前が出る件ですが、公人ですから出て当然なので、それは議論するにはあたらないと思います。

牛尾博美委員長

それは貴方の意見として承っておきますが、この特別委員会の中でそういう意見が出たということを、一応会派に持ち帰っていただいて論議していただくということに留めておきたいと思います。

よろしいですね。

(「はい」 という声あり)

はい。それでは第7回議会改革調査検討特別委員会をこれで終了します。

(閉議 12時 10分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

議会改革調査検討特別委員会 委員長 牛尾 博美

⑨